

令和5年度A日程
学力検査問題

①

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて7ページで、問題は□一から□四まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に
志願先高等学校名と受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の指定された欄**に書きなさい。

志願先高等学校名

高等学校

受検番号

□ 次の(一)～(五)の問いに答えなさい。

(一) 次の1・2の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書きなさい。

- 1 珠玉の芸術作品を鑑賞する。 2 委員会に諮る。

(二) 次の1・2の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書きなさい。

- 1 フクザツな構造をした時計を直す。 2 木のミキから枝が伸びる。

(三) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くとき、総画数が同じ漢字を、後のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

統

- ア 傑 イ 喪 ウ 肅 エ 塾

(四) 次の短歌とその鑑賞文を読み、後の1・2の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

1 鑑賞文中の a に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 立体的 イ 実用的 ウ 人間的 エ 機械的

2 鑑賞文中の b に当てはまる言葉として最も適切なものを、短歌の中から四字でそのまま抜き出して書きなさい。

(五) えりさんの学級では、職場体験を終えて、感想を文集としてまとめることになった。次は、えりさんが書いた【文章】であり、【挿絵1】・【挿絵2】は、【文章】に添える挿絵の候補である。また、後の【発言】は、えりさんたちが挿絵について話し合った内容である。これらを読んで、後の1～5の問いに答えなさい。

【文章】

私は、さくら花店へ職場体験に行きました。花を長持ちさせるための扱い方や、さまざまな花の名前や特徴を、優しく丁寧に教えてくれた店長さんには、とても感謝しています。初めて知ることが多かった私は、メモを取るのに必死でした。

職場体験に行くまで、花屋さんの仕事は、色とりどりの花に囲まれて楽しそうだと思っていました。しかし、実際に体験すると、とても大変でした。まず、水を多く使うので手が荒れます。

そして、重い鉢植えを移動するには、かなりの力が必要です。華やかに見える花屋さんの仕事には、こんな苦勞があったのだと分かりました。大変な仕事なのに、店長さんは、辞めたいと思っただけではないそうです。生産者の方々がみずから世話を²して大切に育てた花を、お客様にお届けするこの仕事に誇りを持っている、店長さんはそう語ってくれました。

職場体験中、私が特に心がけたのは、笑顔です。店長さんは、多くの花の中から、お客様の希望に合う花を選んで、まるで魔法のように花束を作っていました。でも、私にはそんな技術はないので、自分にできる精一杯の笑顔で接客をしようと思ったのです。緊張しつつも笑顔で花束を渡したとき、お客様から言われた「ありがとう」という言葉は、今でも心に残っています。

今回の職場体験では、働くことの大変さを実感するとともに、お客様が喜んでくれたときのうれしさを味わうことができました。

【挿絵1】



【発言】

- えり 私の書いた【文章】には、【挿絵1】と【挿絵2】のどちらの方が合っているかな。
- A 【挿絵1】がいいよ。えりさんが、店長さんの話を真剣に聞いて、メモを取っているのが分かるよ。
- B 私は【挿絵2】の方がいいと思う。えりさんが、笑顔を心がけて接客に取り組んだことが伝わってくるよ。
- C お客様の希望に合う花を、えりさんが選んで作ったという花束がよく見えるから、私は【挿絵2】の方がいいと思うな。
- D 【挿絵1】は、教えてくれている店長さんと、聞いているえりさんの両方の姿があるから、職場体験で学んでいる様子が伝わりやすいと思うよ。
- えり ありがとう。皆の意見を参考にして考えてみるね。この職場体験では、多くのことを学べたよ。将来は私も店長さんのように、自分の仕事に働きたいな。

【挿絵2】



- 1 【文章】中の——線部1の「水を多く使うので手が荒れます」を単語に区切ったとき、活用のある単語はいくつあるか。数字で書きなさい。
- 2 えりさんは、【文章】中の——線部2「みずから世話を²して大切に育てた」を、同じ意味を持つ慣用句で書き改めることにした。その言葉として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。
 - ア 手塩にかけた
 - イ 汗水たらした
 - ウ 恩に着せた
 - エ 腕をふるった
- 3 【発言】中のA～Dから、【文章】や【挿絵1】・【挿絵2】に基づいた発言となっているものを一つ選び、その記号を書きなさい。
- 4 【発言】中の空欄□に当てはまる言葉として最も適切なものを、【文章】中から六字でそのまま抜き出して書きなさい。
- 5 【文章】の記述における、表現の特徴を説明したものととして適切なでないものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。
 - ア 文末表現を敬体でそろえることにより、丁寧で柔らかい感じを与えている。
 - イ 呼応の副詞を用いた比喻により、体験で心に残ったできごとを印象づけている。
 - ウ 体験した内容を具体的に書くことで、伝えたいことに説得力を持たせている。
 - エ 色彩描写を多用することで、体験で扱った多くの花の美しさをきわ立たせている。

二 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

(一) 文章中から次の一文を抜いてあるが、文章中の「ア」～「エ」のうち、どこに入れるのが最も適切か、記号で書きなさい。

これは、科学は無条件に役に立つと思われていることの表れであろう。

(二) 文章中の——線部1に「科学（サイエンス）は、技術（テクノロジー）とは明らかに違った概念である」とあるが、科学と技術はどのように違うと筆者は述べているか。その内容として最も適切なものを、次の「ア」～「エ」から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 科学は、人類が蓄積してきた知識の体系から技術の法則性を生み出すもので、技術は、人類の福祉を向上させるために人工物を創造し、課題を予見するものである。

イ 科学は、コンピューターなどのように広く人類に共有される性格を持つもので、技術は、人類の福祉に反映される理論を発見した者が論じる権利を持つものである。

ウ 科学は、自然の構造や原理・法則性について発明されてきた知によって未来を予測するもので、技術は、人工物を創造することで社会にその利便性を行き渡らせるものである。

エ 科学は、自然の構造や原理・法則性に関する知であり人類が共有するもので、技術は、人類の利便性に通じる人工物の創造に関する知識であり発明者が利権を有するものである。

(三) 文章中の——線部2に「科学の価値」とあるが、——線部2より後の文章で、筆者は「科学」とはどのようなもので、どのような「価値」があると述べているか。その内容を六十字以上八十字以内で書きなさい。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

(四) この文章の内容と構成を説明したものととして最も適切なものを、次の「ア」～「エ」から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 初めに、日本における科学と技術の境界についての問題点を指摘し、次に、技術が社会のなかで必要とされる理由や科学のよさについて具体例を交えて語り、最後に、科学技術を捉え直す必要性について述べている。

イ 初めに、科学と技術は異なるという認識をもつことの重要性について述べ、次に、科学のよさについて具体例を交えながら語り、最後に、これまでと異なる視点で科学を捉えることへの期待を述べている。

ウ 初めに、日本における科学と技術の相互の関係をふまえて課題を提示し、次に、具体例から科学のよさや課題解決の方向性を考察し、最後に、科学の発展がこれからの社会を望ましい方向に導くと述べている。

エ 初めに、科学と技術は社会に役立つものを生み出す関係にあることを示し、次に、科学のよさについて具体例を交えながら説明し、最後に、科学を人類の共通の資産として発展させることについて述べている。

三 次の文章を読み、後の(一)・(二)の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

(一) 文章中の——線部に「その核心をつかんだと感じたときの漱石」とあるが、漱石はどのような核心をつかみ、英文学作品とどのように向き合ったと筆者は述べているか。その内容を、**六十字**以上**八十字**以内で書きなさい。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

(二) 文章中の——線部に『人真似』をしてもだめだということ」とあるが、このことについて筆者はどのように述べているか。また、そのような筆者の考えについて、あなたはどのように考えるか。次の**条件1**と**3**にしたがって書きなさい。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を**百字**以上**百二十字**以内にまとめること。

条件2 最初に、筆者の考えを説明し、次に、それに対する自分の考えを書くこと。

条件3 自分の考えについては、なぜそう考えるかという理由を明らかにして書くこと。

四 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

さぬきの国にやありけむ。国の守仏かみをたふとみア、大きな寺をつくれり。費え多かりければ、民いたう疲れたイ。ある時いみじき僧の老いたるを、守めしつれて、寺にのほり、そこら見歩き、此こゝくどくいかにとのたまふ1。かの僧、まゆをひそめウ、これは国民の涙もてあらひ、あぶらもてみかけるなり。なにのくどくかあらんとこたふエ。大かた興さめて、侍るはべをのこらウ、にらみあひて、いらへするものなし。すずしき胸よりいふなれば、かかることたびたびなれど、守いたく心にもかけず、たふとめるとなん。今の世捨て人、大やうかかるはまれなり。ものまなびして、家をも国をも、とのへてみんとて、出てつかふるかぎりも、家にありし時は、こと人の君もいさめず、たからをわたくしせるなどきけば、いたくそしり罪すれど、出て位を得れば、はじめ2のことば、みな違ふ。そもそも何ものかこれをしからしむ。勢ひこれをおさへて、利これをみちびく。

(中井甃庵なかいしゅうあん『とはずかたり』による)

(注) たふとみ：あがめて大切にして。

費え：出費。

くどく：善行によって得られる報い。

いらへ：返答。

世捨て人：俗世間を捨てて僧などになった人。

つかふるかぎり：勤めている間。

こと人：他の人。

わたくしせる：自分のものとして扱う。

何ものかこれをしからしむ：何がこれをどのようにさせるのか。
勢ひ：権勢。

(一) 文章中の~~~~線部の「をのこら」を現代仮名遣いに直して、~~~~線部全部をひらがなで書きなさい。

(二) 文章中の——線部1に「のたまふ」とあるが、これと行為をする者が同じであるものを、文章中の——線部ア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

(三) 文章中の——線部2に「はじめのことば」とあるが、この「ことば」の内容はどのようなものか。その内容を文章中から二十二字で探し、その初めの**五字**をそのまま抜き出して書きなさい。ただし、句読点も字数に数えるものとする。

(四) この文章で述べられている内容の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 「いみじき僧」は、苦勞して寺を建てた人々のことをねぎらって声をかけたが、このようなるまいは、僧が権勢や利を手に入れたからこそできるものだと言っている。

イ 「いみじき僧」は、僧では珍しく誰にでも気さくに話しかける人物であったが、このようなるまいは高い位にあり権勢や利を気にしないからこそできるものだと言っている。

ウ 「いみじき僧」は、寺をつくった多くの人々の苦勞がいつか報われると説いたが、このようなる言動は権勢や利を気にかける僧にはあまりないことだと述べている。

エ 「いみじき僧」は、当時の世では珍しく位の高い人に対して率直に意見を伝えたが、このようなる言動は権勢や利を気にかけるようになると失われてしまうものだと言っている。